

研究集会：海洋の統合的理解に向けた新時代の力学理論の構築

日時：2024 年 10 月 14 日～15 日

場所：北海道大学低温科学研究所 講堂

運営幹事：大貫陽平（九州大学）

所内担当：中村知裕

■ 1 日目

13:30-13:40 はじめに（中村）

13:40-14:10 神山翼（お茶大）続・続・熱帯と中緯度の解の接続について

14:10-14:40 磯田豊（北大）慣性周期の Gyroscopic Wave

14:40-15:10 石井杜和（東大）トポロジカルエントロピーを用いた水平拡散過程の可視化

15:10-15:40 吉田慎之助（北大）南極周極流のエネルギーバランス：Roughness への依存性

15:40-16:10 原田倫（海洋大）北極海表層海洋循環形成

（海水凹凸に依存する海面応力の考え方、真のエクマン鉛直流、準定常渦度バランス）

16:10-16:40 早川晃平（海洋大）海水直下の境界層を考慮したベーリング海峡通過流量の見直し

（海面高度差で求める地衡流ではない）

16:40-17:10 島田浩二（海洋大）流れと渦の非線形発展

（沿岸境界流、黒潮続流、黒潮大蛇行の振幅 limit&大蛇行冷水渦と遠州灘の海洋熱波の周期性）

17:10-17:40 勝又勝郎（東大）船舶乱流観測のバイアス

（懇親会を予定）

■ 2 日目

9:30-10:00 木田新一郎（九大）Region of Freshwater Influence (ROFI) の再定義

10:00-10:30 古恵亮（JAMSTEC）深海底圧力・密度変動(に関する雑談)

境界グリーン関数法による沿岸補足波モードの数値計算

10:30-11:00 藤原泰（神戸大）波上乱流の解析

11:00-11:30 田中祐希（海洋大）境界流の変動に対する沿岸捕捉波の応答

11:30-12:00 寺田雄亮（JAMSTEC）赤道中層ジェットの鉛直位相伝播

12:00. おわりに（大貫）

<共同研究計画立案打ち合わせ>

10 月 14 日(火) 10:00-12:00 講堂